



To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU, OSAKA, JAPAN

2020年12月
No. **463**
Chartered
July 20, 1982

主題 Y's THEME (2020~20)

- センテニアルクラブ会長 『共に考え、共に歩む、まずは地固め』
- 国際会長 『命の川を信じよう』
- アジア太平洋地域会長 『変化をもたらそう』
- 西日本区理事 『Let's do it now!』
- 中西部部長 『ワイズの力を信じて、自ら行動しよう』

クラブ役員 Officers

- 会長 中村 茂高
- 副会長 三浦 直之
- 書記 大村 肇
- ドライバー 大村 肇
- 会計 岡本 剛介
- メネット担当 坂本 千春
- YMCA連絡職員 長尾 聡

Biblical Message of December

あなた方は神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身につけなさい。互いに忍びあい、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦して下さったように、あなたがたも同じようにしなさい。これらに加えて、愛を身につけなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。

(コロサイの信徒への手紙3章12~14節)

何事にも時がある

谷川 寛

最近、若い時から続けてきたいろんな団体のお手伝いを整理させてもらっています。いろんなお付き合いを整理するということは寂しいことです。それでも、年齢のことも考え、あまり人に迷惑をかけないように整理を進めています。何事にも「時」があります。その決断の連続が人生のようです。「時」というと旧約聖書のコヘレトの言葉3:1を思い出します。(1)何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。(2)生まれる時、死ぬ時、植える時、植えたものを抜く時(3)殺す時、癒す時、破壊する時、建てる時(4)泣く時、笑う時、嘆く時、躍る時(5)石を放つ時、石を集める時、抱擁の時、抱擁を遠ざける時(6)求める時、失う時、放つ時(7)裂く時、縫う時、黙する時、語る時(8)愛する時、憎むとき、戦いの時、平和の時

これらの言葉が、昔と異なり、私に決断の「時」を迫ってきているように思います。



December Club Meeting

『EMC-E/YES』

12月第1例会 (Web併用)

日 時: 2020年12月19日(土) 14:00~16:00

場 所: 大阪YMCA会館5階506号室

司 会: 中村 茂高 君

- 開会 中村 茂高 会長
- ワイズソング 一同(ウクレレ)
- 聖句朗読 三浦 直之 君
- ゲスト・ビジター紹介 中村 茂高 会長
- 強調月間 何 早林 君
- Go To HAWAII IBC交流 芝田 光雄 君
- 卓話「私とフラ」 宝塚クラブ・石田由美子さん
- 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
- お誕生祝い/ニコニコ献金 一同
- 閉会 中村 茂高 会長

*昼食を終えてご参加ください。

*コロナ禍、マスク着用をお願いします。

お誕生日: 何、岡本、中村隆の各メン

12月第2例会 (web)

日時: 2020年12月23日(水)

19:30~20:30

ZOOMによるweb会議を行います。



11月		種別	第1例会(web併用)	第2例会(web)	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	18名	メン	11名	7名	11月 0g	11月 9,000円
例会出席	13名	メネット	3名	2名	現 金 0円	
うちメーキャップ	2名	ビジター	2名	0名	累 計	
出席率	72.2%	ゲスト	2名	0名	切 手 204g	累 計: 34,850円
		合計	18名	9名	現 金 0円	

今月の聖句

最近、社会の分断ということが言われています。お互いを理解しない、しようしない姿勢からこのようなことが起きるのだと思います。彼の大統領のように、一方的に激しく相手を攻撃することで、それはより増幅されます。国のリーダーともなれば思いやりのある、温かい言葉が求められます。宥恕(ゆうじょ);寛大な心で赦すことの意味を考えてみましょう。

(聖句選/コメント:三浦 直之)

11月第1例会

11月14日(土)14:00~16:00、第1例会を大阪YMCA506号室で、花本メンのWEBでの司会により、18名の参加で開催(ZOOM併用)した。

ゲストは、次期アジア太平洋地域会長大野勉メン(神戸ポート)。ワイズに入会した経緯、ボランティア活動への思い、趣味のマラソン、音楽演奏のこと、2017年から18年まで西日本区理事に就任したことなど、幅広く活動されている様子をうかがった。

次に、ZOOMで西村隆夫メン(元国際書記長)との対談に移った。西村メンは以前、国際書記長として活躍され、現在は退任したタイのチェンマイにあるワイズ事務所で活動を続けている。西村メンは私たちのクラブのチャーターメンバーでもあり、長年、国際書記長として堪能な語学力と共に活躍され、私たちにとっても、頼もしく、憧れをもった大先輩。現在は、その豊富な経験を生かして、後任の指導に当たっている。今は、チェンマイでゆっくりと過ごされているご様子。今後の益々のご活躍をお祈りします。

また、ZOOMで前田香代子さん(前、西日本区国際交流主任、熊本ジェーンズ)にも参加頂き、感謝。続いて、工藤義正メン(土佐堀クラブ)からクリスマス献金の案内・お願いがあった。また「関西いのちの電話」が、コロナ禍により毎年開催しているチャリティーコンサートが中止となり、資金的に苦しい状況なので、募金協力の依頼がある旨を、三浦が説明。最後に、中村会長の閉会の挨拶・点鐘で閉会した。

(三浦 直之)



11月第2例会 (WEB会議)

とき:2020年11月25日(水)19:30~20:30

出席:石津、大村、芝田、坂本哲、坂本千、谷川、中村茂、山中秀、山中ち 9名

〈協議内容〉

1. 12月第1例会を当初、ラルゴで予定していたが、コロナ感染拡大の折、残念ながら、時間と場所を変更して大阪YMCA会館での開催に決定。
2. ハワイ・ヌアヌクラブとのIBC交流の件
 - ・ワイズソング(1番のみ英語歌詞で)両クラブで
 - ・石田由美子フラチームによる
きよしこの夜、カヒマナヒラ(ウクレレバンド伴奏)
 - ・ジングルベル、We wish Merry Christmas (両クラブで)
 - ・両クラブの情報交換後、「ハワイアロハ」で終了。
3. チャリティー抽選券 11,000円をYMCA支援金
(12月第2例会より抜粋)

YMCAニュース



☆第328回早天祈祷会☆

日時…2020年12月18日(金)7:30~8:15

※朝食会は実施しません。

奨励…高橋 順さん(西野田鶴見橋教会牧師)

場所…大阪YMCA会館10階チャペル

☆大阪YMCAクリスマス献金にご協力ください!☆

*国際協力募金…日本YMCA同盟が行う国際支援活動(災害、紛争、貧困等の解決)のために

*個別支援プログラム支援金…地域における課題解決(地域支え合い・交流、世代間交流、児童養護施設招待キャンプ、子育て支援など)のプログラムのために

*国際奨学金支援金…海外からのユースの勉学支援のために

*国際協力活動支援金…グローバル社会に平和を創りだすアジアのユース育成のために

*青少年育成活動支援金…チェンジメーカーとして社会課題解決に参画する青少年育成のために

【期限】2021年1月31日(日)まで

【お問合せ】お近くのYMCAまたはクリスマス献金事務局

(長尾 聡 TEL: 06-6441-0894)



GOING
GLOBAL

米国最近事情 (要約)

分断の米国大統領選挙

谷川 寛

大接戦となった米大統領選挙は民主党のバイデン前副大統領の勝利で終わった。しかし、トランプ現大統領はいまだに敗北を認めず、「選挙に不正があった」と主張している。米国社会に大きな潮流の変化が起きている。「格差」の広がり、また移民の増加から「社会構造の変化・人種間の分裂」。「自国最優先主義」を打ち出した同氏は、パリ協定、TPP、ユネスコなどの協定を、さらに、WHOを来年7月に脱退と宣言。またWTOを事実上機能不能にした。

米国社会が二つに割れ、「分断」がいかに深刻かを物語っている。その中に潮流から取り残された「低学歴の白人労働者、ITと無縁なスキルをもたない層」が含まれ、トランプに投票したと考えられる。いわばトランプは、「分断」により社会の底辺で不満をいだく層を利用した選挙戦略だった。しかし、バイデンを中心とする民意が辛うじてこれを阻んだ。

勝利宣言をしたバイデンは、次のように全米の市民に語りかけ、結束を呼びかける。“I pledge to be a president who seeks not to divide, but to unify, who doesn't see red and blue states, but a United States. And who will work with all my heart to win the confidence of the whole people. For that is what America is about: The people.”

(分裂させようとするのでなく、結束させる大統領になることを誓う。赤い州や青い州でなく、ただ米国だけを見ることを誓う)。しかし党内は一枚岩でなく、異端のトランプ政権を一期で終わらせるという強い願望から結束したが、新しい政権が動き出すと、対立が表面に出てくる。この対立を乗り越えて結束できるかどうか、バイデン新大統領の手腕が試される4年間がすぐにやってくる。

〈原文は5頁〉



Club Activities

November, 2020

■ The November meeting was held at the Osaka YMCA Hall at 14:00 on November 14th.

Takao Nishimura, a founding member of the club and former international secretary general of Y's Men's IHQ, which used to be based in Geneva and Tsutomu Ono of the next Asia-Pacific Area President, who belongs to the Kobe Port Club, talked online. The theme was "Y's Men's Club Movement around the world."

In 2016, Mr. Nishimura, then International secretary general, set up a satellite branch office of the Y's Men's IHQ in Chiang Mai, Thailand. When Mr. Ono asked the reason, Mr. Nishimura answered, "Cost performance. If you are online, the person at the other end does not know whether I am in Geneva or Thailand.

Then it is better to choose a branch office in Thailand where the cost is half.

That is the reason." Even after retiring in 2019, Mr. Nishimura continues to volunteer in Thailand to support the Akha in coffee cultivation.

Mr. Nishimura emphasized, "It is important for us to collaborate with YMCAs. It will be a great help if 60 million YMCA members in the world take action on human rights, environment and food issues.

" Finally, the conversation ended with the words to meet at the 100th Anniversary International Convention in Hawaii in 2022.

■ Gathering with Osaka YMCA high school students
On November 30, as part of the class, more than 30 high school students who had experience of school refusal and 8 senior members mostly from our club had a friendly gathering of games and chatting.

AKANE HANAMOTO



リレーエッセイ

コロナと私

隅田 保



長年お世話になった毎日広告社の代取締役を、この9月で退任しました。

途端に、中央病院の柳先生に心電図がおかしいと冠動脈のカテーテル検査を受けることになりました。

結果はよくなくて、そのままステントを挿入手術とかで、3日間入院しましたが、病院のおかげで見舞いは一切ダメで、メネットの介護も受けられず、心電図装置と点滴とともに、睡眠不足を取り戻すことに努めました。手術は成功で、運動すべしとゴルフのお墨付きをもらいました。

後期高齢者(78)で広告代理店の代表でクライアントの手前、コロナに感染するわけにもいかず、ひたすらにゴルフ、麻雀の場を避けていましたが、暑い夏もいつの間にか過ぎたので再開しました。今までは仕事優先でしたが、これからは遊ぶ仲間も減ってきましたので、お誘いを待っているところです。極めつけは退任したのなら、奥さん孝行でGoToトラベルを是非にと、京丹後市の夕日が浦へ解禁のカニ旅行を何から何までお膳立てしてくれたある媒体の広告局長さんのおかげで、この17、18日、1泊のドライブ旅行が実現したのですが、今はGoToも感染拡大でその実施が大問題になっています。この新型コロナは仕事に大きな影響を免れません。国や大阪府の施策も助かっています。経済は本当に大事です。誰もおっしやってますが、コロナと共存せざるを得ないと思います。重症化は避けなければなりません、感染を覚悟しながら、対策をして、仕事も遊びもすることが必要です。私はリモートでのワイズ活動に感動しますが、一緒に集まってできる例会にまず参加していきたいものです。

保険の

ちょっと

いい話

武田 善博



保険には自動車保険、火災保険、医療保険、生命保険など他にもいろいろありますが、「どんな内容の自動車保険に入っていますか?」と質問すると「対人・対物無制限で車両保険が200万円くらいかな。」と具体的に答える方が殆どで

すが、「どんな生命保険に入っていますか?」と質問すると「よくわからないけど、月2万円位払っているかな。」と答える方が結構多いのに驚きます。生命保険は「何のために」・「いくら必要」・「いつまでの保障」を明確にすることが肝要です。



ニコニコ メッセージ

NIKO NIKO MESSAGE

《ビジターからのメッセージ》

- 途中参加です。土佐堀YMCAのクリスマス献金よろしくお願ひします。(工藤 義正・大阪土佐堀)
- 谷川さまとのご縁で、ハワイ・ヌアヌクラブのワイズメンとも交流させていただき、区事務所の坂本千春さんにも、昨年私が事業主任期には大変助けていただきました。Zoomという手段で、九州に居ながらこういう幸運にも恵まれ、コロナも悪いことだけではないと思ったりしています。(前田香代子・熊本ジェーンズ)

《会員からのメッセージ》

- ゲストに大野勉さんが会場に西村隆夫さんがZOOMでタイから参加していただき、お二人のワイズへの思いをお聞きし大変有意義な時間を持つことができました。(大村 肇)
- 元国際書記長の西村ワイズのお話はとても興味深く、ZOOMミーティングの良さを感じました。(坂本 千春)
- WEB ZOOMでの例会実施も回を重ねる度に軌道に乗って来ましたねー。タイの西村隆夫様、神戸ポートクラブ大野勉様の対談も内容豊富で、充実した例会でした。色々企画して下さった中村会長、隆幸先生、花本さんのZOOM司会もよかったです。(芝田 光雄)
- メネットと一緒に例会に参加できて色々お話を伺えることに感謝です。(隅田 保)
- 世界でのY'sの活動の様子、感動致しました。又機会があれば聞かせて頂きたいと思います。(隅田 恵子)
- 今月より光栄にも原稿を書かせてもらっています。(武田 善博)
- 西村さんの参加を得て、すばらしいZOOM例会になりました。(谷川寛)
- なかなか知り得ない国際ワイズの話に興味深く、西村さん、大野さんからおうかがいすることができました。特に、西村さんの6千万人のYMCAの力は社会を変えることができるという言葉は、とても印象的でした。(中村 茂高)
- 大野勉次期アジア会長の興味深いワイズのお話、有り難うございました。次期会長としてのご活躍をお祈り致します。コロナウイルスの第三波の懸念がありますが、万全の対策をして乗り切りましょう。(三浦 直之)

後記

ブリテンのデザインを一新しました。これまで素人ながらのやりくりでしたが、少しプロの手を借りました。私たちのクラブの大きな広報の手段として、外に向けての発信の大切さを感じています。特に、英文報告を復活させ、私たちの活動を、IBCのハワイ・ヌアヌクラブなどにも情報を送り、互いの交流をはかっていければと思います。

Shige

Going
Global

アメリカ最近事情

分断のアメリカ大統領選挙

谷川 寛

大接戦となった米大統領選挙は民主党のバイデン前副大統領の勝利で終わりました。しかし、トランプ大統領はいまだに敗北を認めず、「選挙に不正(Fraud)があった」と主張し、「時間が経てばわかる」と言っています。(2020年11月末現在)

従来の米大統領選挙では、敗者がまず敗北を認め、その結果、勝者が勝利宣言を出しますが、今回は違っていました。バイデン氏は見切り発車し事実上の勝利宣言の演説をしました。(11月7日)。彼は演説の冒頭で “We have won with the most votes ever cast for a presidential ticket in the history of this nation – 74 million.” (我々はアメリカの大統領選挙の歴史でかつてなかった7千4百万の票を獲得した)と言及しました。その後の最終集計でバイデン氏への投票総数は8千万に到達。一方、敗者のトランプ大統領もなんと7千4百万の票を獲得しています。敗者とはいえこの数字は驚きです。

選挙前の予想では、民主党が大統領選挙と上下両院の選挙の両方を制すると予想。これを民主党のカラーである青色から “Blue Wave” と表現していました。しかし、民主党が圧勝する「青い波」は起きませんでした。上下両院の選挙の結果も、上院は共和、下院は民主が過半数を占め、「ねじれ議会」となりました。

今回の選挙は、世界で最大の感染者の多いアメリカのコロナ禍で行われ全米での関心が高く、敗者であるトランプ氏ですら、7千4百万票を獲得。これは以前オバマ大統領が勝利した時の得票数を上回っていました。郵便投票 (mail-in ballot) が許されていたことも、コロナ危機でも投票率を大幅に上げた原因のようです。

トランプ氏が勝利した2016年の大統領選挙は、投票総数で民主党の Hillary Clinton氏が上回っていましたが、選挙人の数で上回った Donald Trump氏が勝利しました。これも予想外の結果でしたが、この事実はアメリカ社会に大きな潮流の変化が起こっていることの現れです。今日指摘されている資本主義の欠陥からくる“格差”の広がりがあり、さらに、あらたな移民の増加から派生した“社会構造の変化・人種間の分裂”があります。

“一つのアメリカ” (United States) という意識で纏まるのが難しくなり、“多文化主義”の考えが前面に押し出されてきていました。アメリカ社会の構造変化です。

このような潮流の変化の下で、2016年トランプ大統領が誕生しました。“America First” (自国最優先主義) を打ち出した同氏は、気候変動に関する “Paris Climate pact, Trans-Pacific Partnership Agreement (TPP), UN Human Rights Council and UNESCO” などの協定を破棄、ないし脱退を宣言しました。さらに、World Health Organization (WHO) を来年7月に脱退すると宣言。そして、World Trade Organization (WTO) を事実上機能不能にしました。同氏にいわせ

ば、地球温暖化などは存在しないと主張し、石炭産業労働者を保護。地球温暖化対策に熱心なEU首脳と激突しました。さらに、中国とは先端技術、通商政策などの分野でも強硬政策を採り、貿易収支の改善のため、中国を中心とした国々からの輸入に高関税を課し、緊張が高まりました。このようにして、世界がアメリカに期待した“同盟国との国際協調路線”とも決別しました。

今回の選挙で敗北したトランプ大統領ですが、7千4百万の支持者がいたという事実は、重く受け止めなければなりません。米国民の約半数の熱狂的支持があるということを見せつけました。アメリカの社会が大きく二つに割れ、“分断”(Division) がいかに深刻であることを如実に物語っています。いずれ世論調査会社によるこの7千4百万人の内訳が分析されるでしょう。そのなかに新しいアメリカ社会の潮流から取り残された“低学歴の白人労働者・ITと無縁なスキルをもたない層”が含まれていることは確かです。このような低所得層とは感染予防のため経済活動を厳しく制限されることで食べていけなくなるという不安を抱えている有権者です。外国との“国際協調路線”は彼らの日々の暮らしとは無縁です。このような有権者がトランプ大統領に投票したと考えられます。いわばトランプ大統領は、このアメリカ社会の“分断”により社会の底辺で不満をいだいている層を利用して、再選を勝ち抜く戦略でした。しかし、バイデン候補を中心とする民意が辛うじてこの戦略を阻む結果となりました。今回敗北したトランプ氏ですが、7千4百万という支援者に勇気づけられており、2024年に再度挑戦するとの情報もあります。

勝利宣言を出したバイデン候補は、次のように全米のアメリカ市民に語りかけています。

“I pledge to be a president who seeks not to divide, but to unify, who doesn't see red and blue states, but a United States. And who will work with all my heart to win the confidence of the whole people. For that is what America is about: The people.”

(分裂させようとするのではなく、結束させる大統領になることを誓う。赤い州や青い州でなく、ただ米国だけを見ることを誓う……)このように分断が進んでいるアメリカの結束を呼びかけています。

バイデン候補は勝利しましたが、彼の年齢からして一期で終わるでしょう。民主党も党内は一枚岩でなく、2008年の金融危機以降、金融資本主義への批判が集まり、左派が台頭しました。今回はなんとしても異端のトランプ政権を一期で終わらせるという強い願望から結束しました。しかし、新しい政権が動き出すと、その対立が表面に出てきます。この対立を乗り越えて結束できるかどうか、バイデン新大統領の手腕が試される4年間がすぐに始まります。

以上